

学習院大学

国際社会科学部 国際社会科学科

この学科で学ぶこと

社会科学の5分野「法学・経済学・経営学・地域研究・社会学」を幅広く学び、国際的なビジネスの場で活躍するために必要な「課題解決力」や「国際経済社会に対する理解力」を身につけていく。



大学情報

URL <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/>
〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1
学習院大学 アドミッションセンター
TEL 03-5992-1083/03-5992-9226

法学部

経済学部

文学部

理学部

国際社会科学部

資料請求



将来は海外で働きたい!

高校時代に留学経験があり、英語が好きなので国際社会科学部に入りました。英語を使った少人数の講義が多いのも特長です。具体的な職種は決めていませんが、将来は海外で働きたいですね。

久保 慶吾くん
国際社会科学部 国際社会科学科2年
東京都 私立 学習院高等学校



学習院大学の魅力はここ!

先生や職員の方たちに質問をしても、気軽に親身になって答えてくれるところですね。これから就職活動が始まりますが、いろいろなことを相談しやすい、アットホームな環境だと思います。

大島 桃子さん
国際社会科学部 国際社会科学科2020年卒
東京都 私立 吉祥女子高校卒

History 建学の精神



内容の充実した奥行きのある大学

幕末に公家の教育機関として設けられた学問所を源流とする学習院は、一九四九(昭和24年)新制度の下に学習院大学として開学しました。開学にあたり、初代学長である安倍能成は「間口は狭くとも奥行きがあり内容の充実した特色ある大学を作ること」を志し、大学の特色として「世界と国内との生きた現実の理解、さらに進んでは文化国家としての日本の遠大な理想たる東西文化の融合」を挙げました。

Future 未来へ



ワンキャンパスで活発な交流を

学習院大学の特徴はすべての学部、大学院がワンキャンパスに集まっている点です。そのため、専門分野を追求するだけでなく、垣根を越えた知的交流が活発に行われています。二〇二一年度より「大学入学共通テスト利用入学選抜」を導入。より多様な価値観をもった学生たちが集まります。国内外の学生たちがワンキャンパスで「ひろい視野、たくましい創造力、ゆたかな感受性」を身につけられる場所であり続けるために進化を続けていきます。

「Gランチ」は、学習院の頭文字がついた、人気の定番メニュー! 日替わりだから、毎日どんな料理が出てくるか楽しみです。

大島 桃子さん

社会学

本日の講義
4.24(水)
at 目白キャンパス
14:40~16:10

この講義で
学ぶこと

社会学の基礎を学び、現代社会の分析の仕方を身につけることを目的とする。この講義を通して、社会学個人と社会の関係や社会の機能と変化など、社会学の基礎知識を学び、多様な社会の仕組みを自ら分析できるようにすることを目指す。

解明されていないことは何? 高校とは違い 自ら問いを見つける姿勢を

一年生を対象とした本日の講義は、社会学における「リサーチの手順」について。「皆さんがやるべきことは、手続きに従ってデータを分析して仮説を検証することです」と玉置先生。また『「問い」は学問の基礎です。高校時代は言われたことを勉強してきたかもしれませんが、これからは皆さんが自発的に問いを見つけていく姿勢が重要です』と。さらに「大学では学問

的に未解明なのかどうか、非常に重要です。誰も知らない問題に焦点を当てて、何かしらの答えを出してほしいと思います」と加えた。

リサーチ・クエスチョンの実例として、フランスの社会学者エミール・デュルケームの『自殺論』が取り上げられた。「彼は人々のまとまりや、連帯感が弱い集団は自殺が多いのではないか? という仮説を立てました」。例えば、既婚者の多い地域と未婚者の多い地域のほうに自殺者が多かったという。デュルケームは地域を一つの分析単位とした

サンプル調査の問題点は? 世論調査を事例に ディスカッションを行う

調査方法の一つの全数調査では、国勢調査や江戸時代の宗門人別改帳が事例に挙げた。「この全数調査は、国民全員に聞く必要があるのですが、労力や費用の面からも困難です。そこで我々研究者はサンプルを取り、全員にはなく一部のみに聞いて、その答えを元に一般化していきます」。このサンプル調査については、「NHKの内閣支持率の世論調査」を事例に、ランダムにサンプリングをする重要性が挙げられた。また調査の場合、「ソーシャルデザインアビリティ」といわれますが、社会的に望ましいと思うことを人々は答えてしまいがちです」と。さらに「社会的な真実に近づく場合、多角的な調査方法で接近していくことが非常に重要です」と述べた。また「学問的に意義がある問いにきちんとデータで答えていくこと、そしてその結果をフィードバックしていく。この一連のサイクルを

問いを立て、調査し、フィードバック 社会学研究の基礎を学ぶ

Q 今日講義は、10年後の社会でどのように役立っていますか?



A 職業の違いや就業の有無にかかわらず、新聞やニュースの情報をつのみにせず、「これは正しい」「これは正確ではない」といった、自分で判断し評価できる科学的な基準を持つことは実社会で生きていくうえで非常に重要になると思います。

Profile

2005年、ワシントン大学社会学部教育助手。2006年、ワシントン大学人口学研究所研究助手。2008年、ワシントン大学人口学研究所Shanahanフェロー。2010年、イーストウェストセンター-客員研究員(NIHプロジェクト研究助手)。2013年、米国ワシントン大学大学院社会学研究科博士課程修了(PhD Sociology)。2013年立命館大学産業社会学部助教。2016年、学習院大学国際社会科学部准教授。

意識できるかが大事です」

講義の最後には、前述の「NHKの世論調査におけるサンプリングの問題」をテーマにディスカッションが展開された。学生からは「固定電話を持たない若い世代がサンプリングから抜け落ちる」「アンケートに回答する人は、現政権に興味がある」などの意見が出た。

本日の講義に参加した多くの学生の意見も、先生によりデータ観察・分析がされ、次回の講義にフィードバックされていく。ここにも一連のサイクルが生かされているのだろう。



記者の目
学習院大学はこんな大学



驚いたのは、駅から正門まで歩いて30秒だった(最寄り目白駅)こと。東京都内の山手線沿線にありながら、キャンパス内は池や馬場があり、緑も大変豊かです。豊島区の約1/3の緑を有するそうで、時にはタヌキが出ることも! とお聞きしました。

※講義は2019年に取材したものです。